

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。



YOUR

令和6年

一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第94号

障害者差別解消法改正

もし差別に遭ったら？

大村 美保氏

筑波大学人間系 障害科学域

助教 講演より

令和六年四月一日より、障害者差別解消法の改正により、障害者差別の禁止はもとより、合理的配慮が努力義務ではなく、義務として一部の公的機関だけでなく、一般の事業者にも義務付けられました。

障害のある人たちが、社会的障壁を除去するために通常とは異なる代替手段を用いて、個のニーズに応じて調整・提供をしなければなりません。そのためには、私たち当事者や支援者は、より良い代替案を考えて、事業者を提供出来るように、準備をしておく必要があります。

もしも障害を理由に差別をされたと感じた時には、内閣府「つなぐ窓口」が相談窓口を設置しておりますが、身近なところではさいたま市の各

区支援課又は障害者生活支援センターで相談受付を行っております。

解決しづらかった場合は「障害者の権利の擁護に関する委員会」に繋がります。

この法律は国の行政機関や地方公共団体、民間事業者などを対象としています。

一方、一般の方が個人的な関係で障害のある方と接する場合や、個人の思想、言論といったものは対象ではありません。

差別のない社会の実現に向けて、広く国民に障害者差別の禁止に関する理解も重要です。障害のある人たちは平常時でも健康、教育、雇用、社会参加がしづらい。貧困、暴力、放棄、放置、虐待を受けやすく、地域社会での危機において周縁化しやすい。

私たち当事者は社会に向けて広く権利の主張（生きづらさ）を発信していく事がとても重要な課題であることに改めて感じさせられました。

加藤 シゲヨ



第三回「どーなっ」の報告

第三回目は一月七日（日）に埼玉県障害者交流センター体育館で開催しました。

今回は『エンジョイどーなっ！』として、スポーツイベントを行いました。久しぶりに体を動かす人も多かったと思います。心も体もリフレッシュしました。

「体を動かすって気持ちいい！」と改めて感じましたので、エンジョイどーなっ（スポーツイベント）は今後も時々やって行きたいと思っています。



参加の皆さんに
すてきな節を描いて
いただきました

● 第6回おしゃべりサロン 報告 ●

総務

1月30日レイボックホール市民会館おみやにて、第6回おしゃべりサロンを開催しました。参加者は会員5名、会員外8名、理事10名で3グループに分かれて交流しました。

- 就学前低学年グループでは、療育サービスや医療機関についてや日頃の対応について経験談を交えて話し合い、お悩みを共有しました。
- 高学年を含む中高生グループでは、就労に向けての親子での進め方や、医療、将来の生活について、話をしました。
- 青年期のグループでは、療育手帳・グループホーム・就労について、情報交換をしました。昨年2回開催し、終了後に入会された方がいました。育成会の良さを知って頂けたと嬉しく思います。

総務

第二回みんなでセミナー

二月二十九日、埼玉県障害者交流センターにて第二回みんなでセミナー「教えて！障害基礎年金学習会」を開催しました。

障害のある人の生活に必要な不可欠な障害基礎年金の申請に関しては、保護者が主体となり申請を行う事と、申請には事前の準備が重要な事から、今回このセミナーを企画しました。

会場には、学齢期の保護者の方を中心に、六十名の方にご参加いただきました。

全国育成会作成のDVDを活用し、前半は筑波大学助教の大村美保さんによる、障害基礎年金の基本説明を、後半は世田谷区育成会会長の渡部伸さんに社労士のお立場から、よくある質問にご回答いただく動画を視聴しました。

その後、実際の「診断書」や「病歴・就労状況等申立書」を資料に用いて、手続きの流れや提出書類の記入方法などの説明を行いました。最後に、体験談

として、申請時に苦勞した事や工夫した事などを二名の方に具体的に話していただきました。

質疑では、就労している場合の申請について、引越し等で自治体が変更した際の申請や診断書について、障害年金を取得できても自立生活を送るには経済的に厳しい場合、申立書の作成を専門家に依頼したケースについて等のご質問がありました。

【アンケートから】

○「実際の申請書類を見る事ができ、イメージがしやすくなった」

○「インターネットで調べてもよく分からなかったのとでも勉強になった」

○「将来が全く見えない状況で不安があるものの何もできない状態だったが、少しやるべき事が見えてきた気がする」等のご感想をいただきました。

今後も、様々なテーマでセミナーを企画開催したいと思っておりますので、ご参加よろしくお願いたします。

高橋

ヘルプステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障がい者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。



★**居宅介護**（ホームヘルプ）
入浴・排泄・食事の介護など

★**同行援護**
視覚障がい者の支援

★ヘルパー募集中

★**行動援護**
行動上著しい困難を有する知的障がい者（児）
精神障がい者の外出の介護・危険回避のための援護

★**移動支援**（ガイドヘルプ）
余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ円滑に出来るよう、移動についての支援



一般社団法人 飛躍
ヘルプステーション ほっと
さいたま市大宮区天沼町2-813
☎ 048-649-5703



中央区からこんにちは

節分「鬼は外！福は内」

二月十八日与野本町公民館で埼玉大学ボランティアサークル「かやの木」の皆さんと遊ぶ会がありました。毎回趣向を凝らしてもらっています。



ホントに可愛い

今回は五人の参加があり、季節の行事ということで凧作り、節分お面作りにと当てなど盛りだくさんでした。鬼のお面は色塗りをし、ボールを当てるのは可哀想な位の可愛い鬼が出来ました。まと当てはなかなか当たらず惜しかったー！

スーパリーのビニール袋を使った凧は持ち手の部分を凧のしっぽにしたもので、それぞれ好きな絵を描いて完成。
休憩後、隣の与野公園に出て散策した後、凧揚げをしました。残念ながら無風の穏やかな日で凧はなかなかあがらず苦戦していましたが、さよならの時に「また遊びに来たいです！」と言う声も聞けて学生さんとも嬉しそうでした。



第四回「どーなつ」の報告

三月三日(日)に豆腐ラーメン&雛巡りをしました。

市民会館で、ご当地グルメの豆腐ラーメンを食べて腹ごしらえをしてから、岩槻雛巡りへと繰り出しました。酒造資料館、遷喬館せんきょうかん、愛宕神社等々見どころがあり、たくさん岩槻の春を楽しんできました。

ショッピング、ボーリング、日帰り旅行・・・。たくさんやりたいことリクエストをみなさんからいただきました。令和六年度の「どーなつ」にもご期待ください。



早い春を楽しみました

P & A

避難所講座

黒澤 篤子

昨年引き続き地域の災害に向けて公民館の避難所講座を開催しました。元旦に能登半島地震があり参加希望が多くなりました。内容は、平時に準備する物について備蓄品・緊急安心キット当会のヘルプカード等を紹介しました。

「さいたま市防災アプリ」について防災無線や災害情報を受け取れる事をお伝えし、さいたま市は水害が心配されるので市のHPの活用をお話ししました。災害が起きると避難が想定されず。避難所には障害のある人も一緒に過ごす事になり、平時とは違った環境でストレスを感じる事になります。避難所の収容人数が少ない事をお伝えして自宅の防災グッズの準備について話が及びました。また、機会を頂ける様なら情報収集してお伝え出来る様に準備したいと思えます。

Otsuka 大塚食品

原材料は、雪、雨、風、
そして、シャスタという大地の力。
人間だけでは決してつukれないものがある。

Power of Nature

ここ、シャスタの山から。

令和6年度さいたま市障害者社会参加推進事業「家族教室」

強度行動障害ってなあ～に?!

～強いこだわり・パニックってどうしておこるの?～

- 日時 令和6年7月12日(金)10時～
- 会場 レイボックホール市民会館おみや 集会室1
- 講師 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 理事長 田中 正博氏
全国手をつなぐ育成会連合会 副会長
栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子氏

■開催方法 会場開催とオンライン(Zoom)開催 ※当日先着順 ※無料
Zoomで参加希望の方は、右記QRコード、またはメールでお申し込みください。
E-mail:sc-your@bz03.plala.or.jp



定期総会のご案内

一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会
第16回定期総会を下記の日程で開催いたします。

- 開催日時 令和6年5月30日(木)10時30分～
- 開催場所 埼玉県障害者交流センター 研修室1・2

本年は通常にもどり会場のみでの開催になります。
不参加の方は委任状をお願いします。

発行 一般社団法人
さいたま市手をつなぐ育成会
代表理事 加藤 シゲヨ
〒330-0801
さいたま市大宮区土手町 一丁目三十一
大宮ふれあい福祉センター内
TEL/FAX 〇四八-六五四-七七六三

E-mail
sc-your@bz03.plala.or.jp
ホームページ
http://www.saitamashi-ikuseikai.org/
フェイスブック
@saitamashi-tewotsunaguniikuseikai
インスタグラム
@ikuseikai2022

編集 広報委員会
定価 五十円(会費を含む)

★編集後記★

大地震で明けた新年、被災の大きさが尋常でない様子が画面に映し出されて気持ちが萎えていました。地域にお住いの方たちのご心配ご苦勞を思うと、私たちにできる支援を続けていくしかありません。「明日は我が身」を肝に銘じて生話し、備えだけは怠らないように!

第7回
おしゃべりサロン

◆日時: 6/6(木)
10時～12時

◆場所:
さいたま市
美園コミュニティセンター
第3集会室、第5集会室

ご参加
お待ちしております!!

未来あんしんサポート NEW 2023年7月、新しいプランが新登場 “月払”または“一括払”の2タイプからお選びいただけるしくみへ

[知的障がい]や[自閉症][発達障がい][ダウン症]等の障がいのある
お子さまのために“親なきあと”をサポートのご提案です

- 障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配...
- この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。
- 自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が “親御さまの想い”を 確実に未来へのこします

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェアイシー生命保険信託相談ダイヤル
▶▶▶0120-580-503 通話料 無料
受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●(株)ジェアイシーの担当者(生命保険募集人)は、お客さまと各生命保険会社の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約はお客さまからの保険契約のお申込みに対して各生命保険会社が承諾したときに有効に成立します。●(株)ジェアイシーは「個人情報保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、(株)ジェアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2023年7月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]

JIC
本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

[所属信託会社]
みずほ信託銀行株式会社

[生命保険引受保険会社]
第一フロンティア生命保険株式会社
または
マニユライフ生命保険株式会社

MLJ(営教)23050318

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の皆様へ

手をつなぐがん保険
(団体総合生活保険)
障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です



- 特長1 代理手続き代理告知が可能
障がいのある方向けプラン
- 特長2 告知対象疾患の緩和
障がいのある方向けプラン
- 特長3 成年後見費用を補償
障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のベトナムームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]
ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL:03-6910-0850 FAX:03-6910-0851
URL: http://www.z-kyosai.com/
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00～17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社
公務第一東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL:03-3515-4126(営業時間:平日9:00～17:00)

2021年3月作成
20-TC10720